

### 東伊豆町学校教育環境整備について

#### 答 本年度中に方向を決定



西塚 孝男 議員

「中学校を統合し、幼稚園・小学校はできるだけ現状を維持する。また熱川・稲取両地区に

それぞれ小中一貫校を整備する」といった内容である。このことについて、協議を行っている。

理解、合意形成がなされたい。早期実現を指したい。

#### 残念『がまん』しようよ職場では

問 役場の会議室を町民や町外の人々が使用している中で喫煙室を設けること

とは。  
答 現在、役場庁舎内では全面禁煙としており、また、厚生労働省の平成26年の調査によると、我が国の習慣的な喫煙率は19・3%で、さらに減少傾向となっており大多数の方が非喫煙者の状況である。

#### 子供たちへ3月で見える町の方

問 最終答申を受け町長のお考えは。

答 「学校教育は、一定の人数が確保された環境で、子供たちの関わり合いを重視することが大切である。また、未来を見据え、より地域と一体となった東伊豆町の教育を目指すべきべきである」とした上で、二つの案が示されている。

#### 学校教育環境整備委員会の最終答申

##### 案1

○中学校を統合し、幼稚園・小学校はできるだけ現状維持



##### 案2

○熱川・稲取両地区にそれぞれ小中一貫校を整備



※上記2案は、あくまで整備委員会からの答申（提案）であり、町の決定事項ではありません。今後、町で検討し方針が示されます。

問 職員への喫煙配慮はどのようなになっているか。  
答 職員の中にも喫煙者はいるが、庁舎施設外にてマナーを守った上での喫煙を認めている状況である。

### 「声かけ訪問員」高齢者見守り事業の導入の考えは

#### 答 「あんしん見守りネットワーク」などがある



山田 直志 議員

#### 「声かけ訪問員」高齢者見守り事業の導入を

問 委員会の視察で新潟県三条市を訪問した。三条市では「声かけ訪問員」をつくり、高齢者宅を訪問する取り組みを地域と連携して行っている。当町でも取り組む考えは。

答 「あんしん見守りネットワーク」を構築し充実に図っている。民生委員も担当地区の一人暮らしや高齢者への声かけをし

ている。高齢者が増加することを踏まえ、仕組みづくりに研究・検討していきたい。

問 町の高齢化は、再来年には後期高齢者が25%を超え超高齢社会である。

答 後期高齢者25%という数字は大変厳しい状況。「声かけ訪問員」導入については、区長さんの意見も聞き急いで検討していきたい。

#### 細野高原の利活用に課題は多い

問 現在の利活用上の課題は。

答 1年を通してお客さんが増加しているが、道路整備を求める要望もいただいている。また、高原内の道路の傷みも激しく目立っている。管理では、山焼きの将来的継続が高齢化などにより大きな課題となっている。

問 今後の利活用をどう考えているか。

答 細野高原は他にない貴重な資源と考えている。土地所有者のご意見もいただきながら今後も活用について検討したい。可能な限り制限を設けず、多くの方が自由に来訪し楽しめることが望ましい。

問 現計画以降、人数や等級に変化があるか。  
答 現計画以降、人数や等級に変化があるか。  
問 身体障害者640名と5年前より39名減少し、すべての等級においても減少している。  
問 アンケートで明らかになってきた障害者と家族の要望や地域的な課題は。  
答 回収率は障害者54・3%、一般36・9%で、障害者と家族からは、親が亡くなった後の生活への不安・経済的負担の解消などの要望があった。地域的な課題としては、施設・事業所までの移動手段の確保等といった意見があった。  
問 重複障害児・者の課題は。

問 重複障害児・者の課題は、医療やリハビリの施設が遠い、就労の場がないなどが課題となっている。  
問 広域・町で取り組むそれぞれの課題は。  
答 賀茂地区ではどの市町も人口が少ないため、「児童発達支援センター」を広域で整備する。町では、就労や生活の場を確保することなどが課題と考える。



足りない就労と生活の場